

週間漁海況情報 2025年第48号

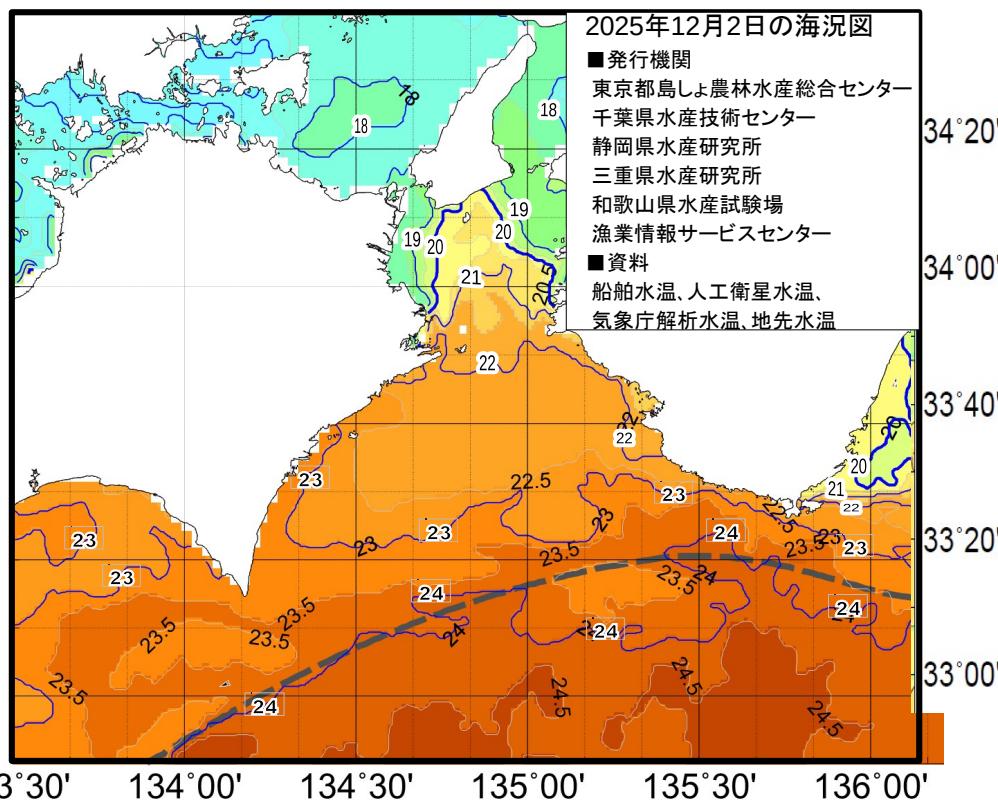
令和7年12月2日発行

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は23~25°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で17~18、紀伊水道で18~21、海部沿岸で22~23°C台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

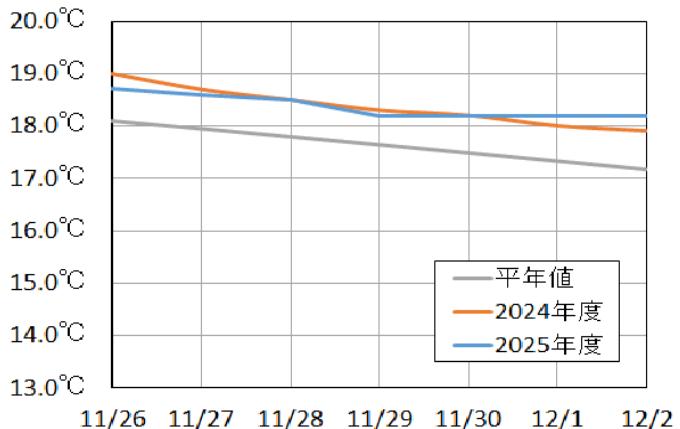
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

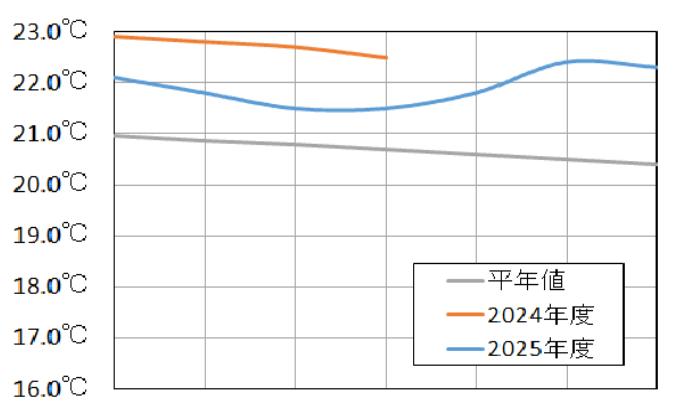
2. 地先水温(11月26日~12月2日)

鳴門地区の水温は、18.7~18.2°Cで「やや高め」で推移。浅川地区は、21.5~22.4°Cで「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.0~4.2°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(12月3日~12月9日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (11月24日～11月30日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが減って18.7トン水揚げされた。
延縄では、あまだい類が減って1トン、サワラが大きく減って0.9トン水揚げされた。
底びき網では、えそ類が2.3トン、かます類が大きく増えて1.2トン、
クマエビが増えて0.9トン、モンゴウイカが大きく増えて0.9トン、
ハモが0.7トン、シロサバフグが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.7トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って豆あじ級主体に1.2トン、
ころだい類が大きく増えて大主体に0.6トン、アイゴが増えて0.5トン、
カンパチが増えて大主体に0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、アカムツが大きく増えて0.4トン、あまだい類が大きく増えて0.4トン水揚げされた。
大型定置網では、マルソウダが増えて1.4トン、マルアジが大きく増えて小小主体に1トン、
ヒラソウダが0.7トン、ウルメイワシが大きく増えて小主体に0.3トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり 平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	68	シラス	18,684	275		↓
	延縄	51	あまだい類	966	19		↓
		32	サワラ	900	28		↓↓
	底びき網	28	えそ類	2,341	84		→
		25	かます類	1,204	48		↗↗
		28	クマエビ	941	34		↗
		28	モンゴウイカ	877	31		↗↗
		25	ハモ	706	28		→
		23	シロサバフグ	339	15		↗↗
	建網	79	カワハギ	676	9	大主体	→
	小型定置網	18	マアジ	1,212	67	豆あじ級主体	↓
		17	ころだい類	615	36	大主体	↗↗
		19	アイゴ	540	28		↗
		11	カンパチ	324	29	大主体	↗
海部沿岸	延縄	29	アカムツ	402	14		↗↗
		19	あまだい類	398	21		↗↗
	大型定置網	6	マルソウダ	1,391	232		↗
		6	マルアジ	1,040	173	小小主体	↗↗
		6	ヒラソウダ	652	109		→
		6	ウルメイワシ	323	54	小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓